

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2015 March

03

Vol.584

03 【特集】 未来をつくる ビジョン2020

これからの未来は我々がつくっていこう

06 21世紀型 自立型企业づくり

感謝はエネルギー

～お客様に愛される店、お客様の事を思う自分であれ～

株式会社 一棧

12 3月行事案内

09 中小企業と税に関する特別勉強会

14 「ワーク・ライフ・バランス大賞 優秀賞」受賞!

10 2015年 新春講演会・新年祝賀会 報告

15 第9回 理事会報告

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

はみだし Report

21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.06掲載)



株式会社 一椿
代表取締役
川原 和彦 氏 (北九州支部)

川原社長とお付き合いは遡ること十数年、まだ彼が某料亭の料理長の頃からになります。

彼の特筆すべき点は、「ずばぬけた商才」と「実行力」そして「計算の速さ」です。

私も仕事上沢山の料理人の方とお付き合いをさせて頂いておりますが、彼ほど、経営能力に優れた人物はいません。

当時、周りが「絶対に高く売れないであろう」と言っていたランチを独自の手法で成功に導き、小倉郊外で始めた20坪足らずの店「一椿」を、昨年オープンした行橋店を含め7店舗に拡大。また、仕出し・弁当等デリバリーも軌道に乗せ、北九州エリアでは幅広いお客様に愛されるグループへと成長させました。

この成功には彼の「商才」はもとより応援してくれる「家族」、信じて頑張ってくれる「従業員」、アドバイスしてくれる「友人」等の存在も忘れてはなりません。

これら周りの人にも恵まれ、今後更に飛躍されることでしょう。

「一椿」のホームページに掲げられている諺「商いは飽きない」

この諺の通り、常にお客様を「飽きさせない」味を今後も追及し続けてくれることを心から願って止みません。

記事：有限会社 三共 代表取締役 藤井 誠一 氏 (北九州支部)

今月の表紙

撮影：間々田 正行
(メニテイズ/福博支部)



インテリアを通じて豊かな生活空間の提案を行っている久留米市のリビングT&S。代表の金川利子さんの実家が大川の老舗家具店だったことを生かし、内装工事から輸入インテリアグッズ販売まで、幅広くビジネスを展開しています。興味深いのはオールドノリタケの販売でしょう。これは明治時代から第二次世界大戦のころまで作られていた花瓶や壺の装飾品、テーブルウエ

アなどのことで、主にアメリカに輸出され、日本にはほとんど残っていない貴重な焼き物。現代では失われた細やかな技に惚れ込んだ金川さんが5年ほど前から買い戻しを続け、素晴らしいものを多くの人に知ってもらいたいとセット物でも単品で販売しています。金川さんは「アンティークとして飾るのではなく、暮らしに彩りを添える一品としてどんどん使って欲しいですね」と話しています。



金川さんがオールドノリタケとともに力を入れているのが骨董の販売。(終活)として自分の貯みにあった骨董を買い手が増えてきているといえます



店内にはオールドノリタケの逸品がたくさん。お気に入りが見つかるかも



同友会活動のほか、ボランティア活動などに、多忙な日々を送る金川さん

「私の逸品」 オールドノリタケ
リビングT&S

久留米市西町亀の甲1139-1 電話0942-37-5546
http://www.living-t-s.com

代表 金川 利子 氏 (久留米支部)

これからの未来は我々がつくっていく

ビジョン委員長 新内 一秋氏



度を名称としていました。今回はその名称を到達年度2020年を指す「ビジョン2020」とし、今年4月27日の定期総会に提起致します。

この「ビジョン2020」は、同友会だけにとどまらず、広く企業家一人一人に届くビジョンとすることを前提としています。私たちが

なく、現在の情勢をとらえて、「これからの未来は我々がつくっていく」というスタンスが基本的な考え方です。さらに、福岡同友会理事会通过して会内外に呼びかけて「私たちが創る未来を語る」というテーマで討論会を2回開催し、広く意見を交換してその討論会の意見を本ビジョンのベースとしています。

現在、福岡同友会は中小企業憲章および中小企業振興にかかわる条例制定運動、政策提言や景況調査など行政やマスコミ等外部への発信や交流などで社会からの評価と期待も高まっているところです。まさに今、どういう企業にしたいのか？ どういう地域社会にしたいのか？ が、私たち経営者に問われています。会員企業の一社一社が本気で企業づくりと地域づくりに取り組み、成果をあげることが大切です。今こそ学びを実践し、この激動の時代を乗り越える企業づくりと地域づくりに徹底的に取り組み、成果を出していくときです。

これこそ、社会から期待されている私たち企業家の使命ではないでしょうか。

私たち企業家が、私たちの国、この日本の豊かさについて考え、未来に向けて地域再生を担う主体者として地域を巻き込んだ運動を興し、安定的で活力ある経済と持続可能な社会の実現をめざし、地域のリーダーとして企業づくりと地域づくりの実践を行いそのめざす姿を『福岡県中小企業家同友会 未来をつくる「ビジョン2020」』として提起します。本ビジョンに賛同する経営者を一人でも多く増やし、夢に向かい可能性を信じ、どんな時代になっても通用する主体的な企業づくりと地域づくりを進めていきたいと思います。

最後に、この「ビジョン2020」をつくりあげるのに、共に考え、悩み、意見をぶつけ合いながら、約2年の時間を共にしたビジョン委員会の同志のみなさんに心から敬意と感謝を申し上げます。

福岡県中小企業家同友会では、これまでに同友会理念の実現をめざし、5次にわたるビジョンを策定して運動を重ねてきました。このたびビジョン委員会では福岡同友会理事会より命を受け、先の「2009ビジョン」を引き継ぎ新たなビジョンの作成に取り組みしました。これまでは、その策定承認年

企業家として、どのような会社をめざすのか、どのような経営者になるのか、そしてどのような経営環境をつくっていくのか、それらを示すビジョンとしました。また、ビジョンを描くうえで、2020年の情勢を予測し、それにどう適応していくかという受け身で社会の変化に対応していくのでは

「2000ジュノン」の総括

「2009ビジョン」は、福岡同友会の機構改革をすすめる移行期の運営に主眼を置いたビジョンとなっており、運営に関する目標やプロセスなどが多数でした。到達目標やプロセスが開催数や参加数となっているところが主な特徴でした。

この間の成果として、会内においては、新会員フォローアップセミナー↓あすなる塾↓経営指針作成セミナーという流れが定着し、経営指針作成セミナーの受講生を増やすことができました。

会外においては、2010年6月に閣議決定された中小企業憲章の影響は多大なるものでした。中小企業基本法も改正され、国の成長戦略の中でも、中小企業・小規模事業者の存在が重要な位置づけとして示されました。

また、イベントや勉強会、定期的な懇談会などにより、マスコミや行政、金融機関などからの、同友会への評価と期待は確実に高まっています。しかし一方で、それぞれの動きに参加する会員企業が少ないのが実情です。

このように福岡同友会も進化を続けながら、ここに来て大きな課

題が浮き彫りになってきました。何のための同友会なのか、今一度、ここをしつかりと共有する必要があります。同友会はその3つの目的に掲げるように、よい会社をつくり、よい経営者になり、よい経営環境をつくる場です。今こそ、『実践』から『成果』に主眼をシフトし、激動の時代を乗り越える企業づくりに徹底的に取り組みときです。そのためキーワードは、企業づくりにおける労使見解の実践と役員づくりで、このことを今後につけていきたいと考えています。

「ビジョン2020」の主な内容

同友会3つの目的の実現像 (私たちがめざし続ける姿)

「1」めざす企業像

一人を生かし永続する企業

企業が目的を達成するためには「永続すること」が絶対条件です。企業が存続することで、雇用が生まれ、納税が行われ、国民と地域社会からの信頼や期待に応えられることができます。存続することで、豊かな国民生活の実現に貢献できます。

企業が存続する為には、利益を

出し続ける必要があります。そのためにはどんな環境変化に直面しても適応できるように、自己変革を続ける社風と、強靱な経営体質をつくることです。

自己変革し続ける企業とはすなわち、社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた人間集団としての企業です。これをどのようにして実現していくか、組織的に具体的な取り組みが求められます。

「2」めざす企業像実現のために

創造と変革をし続ける企業

- 企業の全社員が関わり、経営指針書を作成する。
- 経営指針書に基づいた経営実践をし、検証・評価・改善する仕組みをつくる。
- 製品やサービスの付加価値が高まる仕組みをつくる。
- 企業理念と社内固有の知識や技能を社内で承継する仕組みを確立し、磨き上げていく。
- 長期的展望に立った継続的な採用と教育を行い、経営指針に基づいた経営実践により、永続する企業をめざす。

社員がいまいきと働ける企業

経営者と社員がお互いに尊重し合い、建設的に協議できる関係

をつくる。

• 快適な職場環境づくりのために就業規則や諸規定を整備し、女性の活躍推進など、多様な人材を生かせる組織をつくる。

• 社員の創意や自主性が発揮されるための業務役割分担、権限委譲、自発的目標管理などの仕組みをつくり、そこで働く社員が未来を描ける社内環境をつくる。

• 計画的な新卒採用を行い、社員教育のための仕組みや制度をつくり、組織的能力向上を図る。

お客様と地域に必要とされる企業

- 市場・顧客の変化と潜在ニーズについて常に追求し、自社が社会に果たす役割・使命を明確にする。
- 自社の強みと弱みを把握し、継続的な改善を行い、地域社会や顧客・取引先からの信頼や期待に高い水準でこたえる。
- 各種法令を遵守し、社会的規範や企業倫理を守るといふ企業コンプライアンスに全社的に取り組む。
- 自社の社会的責任を自覚し、環境などに配慮した経営を行う。

強い財務基盤を持つ財務体質が

強固な企業

- 高い収益力と厚い自己資本力がある強い財務基盤をめざし、経営指針の実践を全社一丸となつてすすめる。
- 生産性の向上、高付加価値化、市場

の創造などにより収益力を高める。
 ・どんな景気の波にも対応できる
 健全な貸借対照表(バランスシ
 ト)を計画的に創る。

「2-1」めざす経営者像

— 明日をつくる経営者 —

経営者である以上、いかに環境
 が厳しくとも、時代の変化に対応
 して、自社を維持し発展させる責
 任があります。

経営者というのは目先のことだ
 けではなく、市場の中で自社のお
 かれている状況を大局的につかん
 で、自社のめざすべき方向性を示
 し、全社員との共有を図らなけれ
 ばなりません。

また、社員との信頼関係を築き、社
 員一人一人の自発性が発揮される環
 境を会社内につくることが必要です。
 すなわち、具体的にどのような
 して人を生かす経営を実践するか
 が決定的に重要です。

「2-2」めざす経営者像実現の

ために

● 学び続ける経営者

・市場や社会の動向に関心を持ち、
 情報を収集して的確な経営判断
 をくだす。

・自社の方向性を決める決断力と、
 事業に反映させ計画を遂行する
 実行力を身につける。

・世の中の変化に対応するために、
 従来の考え方、慣習、やり方を問
 い直し、自己研鑽につとめる。
 ・経営理念をしっかりと掲げ、社
 内外に示す。

・心身ともに健康で何事にも主体
 的に行動する。

● 社員を大切ににする経営者

・社員全員がそれぞれの違いを認
 め合い、一人一人が活躍できる
 環境をつくる。

・常日頃から社員の声や意見を素
 直に聞き、現状のことだけではな
 く、社員の気持ちや未来のことま
 で含めて社員と本気で話し合う。
 ・将来のビジョンを社員に語り続
 け、社員に夢と希望を与える。

● 経営者の責任を全うする経営者

・いかに環境がきびしくとも責任
 を転嫁せず、真摯に学び考え行
 動する。

・地域経済を担う主体者であるこ
 とを自覚し、事業活動を行う。
 ・事業承継に向けた計画を立て実
 行する。

「3-1」めざす経営環境像

— 中小企業観の転換 —

少子高齢化が更に人口減少をすす
 め、地域経済は中小企業の減少と若
 者の流出で衰退の一途です。地域に
 根ざす中小企業の活躍こそが、地域
 住民の生活を支え地域経済を担って

います。中小企業憲章でも「中小企
 業は、経済を牽引する力であり、社
 会の主役である。」と謳われていま
 す。しかし、大企業優先の経済政策
 や、大企業信仰の社会的概念は変わ
 らず、大企業と中小企業の格差は広
 がりを増すばかりです。今こそ、私

たちが暮らす地域の経済と社会の根
 幹に、しっかりと中小企業を位置づ
 け、光をあてることが大切です。暮
 らしに根ざす仕事を生み出し、雇用
 の主要な担い手として、地域、社会、
 文化の力強い発展のために、果敢に
 挑戦し努力する中小企業が、たくさ
 ん生まれ育つ環境をつくりましょう。
 そして、元気な国をつくりましょう。

「3-2」めざす経営環境像実現

のために

経営環境改善の活動は、決して経
 営者一人ではできないことではありま
 せん。私たち経営者が、中小企業家
 同友会や他団体と共に、学び、考え、
 声を挙げ、行動することが大切です。

● 多様な産業を基礎とする持続可

能な経済環境

・県内の市町村で地域再生を議論す
 る「場」(〇〇振興会議)をつくる。

・地域の中小企業が中心となり、
 〇〇振興会議で地域のビジョン
 を描く。

・地域のビジョンを実現するため
 の方針と中小企業振興条例を策

定し、施策を展開する。
 ・地域の中小企業振興条例に基づ
 いた施策に係わりを持ち挑戦す
 る中小企業を増やす。

・地消地産やエネルギーソフトを
 考え仕事を創り地域内循環の経
 済にする。

● 地域全体に中小企業の重要性が

認識されている

・学校教育の段階から中小企業の
 存在意義を伝え、次世代の人材
 を育成する。

・中小企業という魅力のある働く
 場所がたくさんあることを広く
 伝える。

・多くの若者を地域全体で育て、
 地域の中小企業が雇用を支える。

● 起業や新事業展開などで企業が

生まれ育ちやすい環境

・企業変革や技術革新などを促す
 ための政策を充実させ活かす。

・起業や新規事業展開に挑戦しやす
 くなるよう政策を充実させ活かす。

● 影響を受けやすい中小企業への

配慮が確保されている

・中小企業憲章を国民全体の認識
 となるように国会決議の要請運
 動を行う。

・県内の全自治体で中小企業振興
 条例を制定し、施策を展開する。

※本ビジョン(案)は1月31日の第9回理
 事会で承認され、4月27日の第53回定
 期総会の議案となります。



事務所内の様子



セントラルキッチンでの仕込みの様子

きます。料理店の息子なので、桂むきや刻みを難なくこなしていきます。この姿を見て、川原さんに『スイーツ』が入りました。師匠の所作を盗んでは料理に励むようになりました。やがて山口や静岡、京都などの料理店やホテルに修行に行くように

なり、二十五歳で小倉のある店の料理長を仰せつかり、それが大きな自信になりました。

独立・創業の思い

二十七歳の時、かつて一緒に働いていた腕のいいベテラン料理人の方が戻ってきました。二人で話し合い、新しい店を出そうと決心しました。しかし、資金がありません。まず、銀行を回りますが、ことごとく断られました。そこで、川原さんの奥さんを説得し、貯金や子供の学資保険を解約して資金を調達し、それを担保に銀行から五百万円を借りることができました。

川原さんは味には自信があり、内装にはお金をかけなくても良いと考えていました。しかし、店をつくる際に店づくり、つまり雰囲気や内装が大事であることを内装の職人さんにつげられました。ワンランク上の店づくりには当然費用がかかります。お願いしていた建築屋さんは『出世払い』に近い条件で受けてくれました。平成九年、北九州市小倉南区守恒の地で、奥さんを含め三人で三十坪二十四席の『二椿』を創業させました。

ちなみに屋号は川原さんの実兄が椿窯つばきかまという窯元をしていて、お店で使う器をそこで作ってもらった

ことに由来しています。椿は中国では長寿の象徴と言われています。

二千円のランチ

開店当初、ランチを二千円でスタートしました。当時としては高めの価格でしたが、「給料を支払うための逆算」と川原さんは話します。自立した企業をめざす姿勢の一端が垣間見られます。

開店直後は物珍しさで訪れるお客様がパラパラと入ってくる程度でした。やがて十日を過ぎるころからリピーターが現れ、そのお客様が新しいお客様を連れてくるようになりまし。 「口コミだと思えます。主婦層から始まって、社用族にも広がって行きました」。

時はバブルが弾け、失われた十年が進行中でした。料亭であれば客単価は一万円が相場である一方で、居酒屋は安さを売りにしていました。川原さんは、夜の部はコースを中心とし、客単価を六千円に設定しました。「いわゆるアップミドルがターゲットです。料亭よりはリーズナブルな値段で、圧倒的な手作り感で居酒屋との差別化を図りました」。やがて店は繁盛し、三人はフル回転で働きました。建築屋さんへの支払いも終え、一年後には二階を増築することにしました。「その時は即金で払いました



店内の様子

よ」と笑顔で話す川原さん。増築効果で売上は倍になりました。「その頃が一番利益率はよかったと思います。でもこのままではダメだと感じていました」と次の手を打つのでした。

多店舗展開へ

そこで新しく小倉北区に進出し、本店機能を移します。歩いて行ける範囲でさらに三店舗展開しました。接客用、団体様用、おひとり様向けのカウンターと趣を変えた作りになっています。ある店舗が満席でも違う店を紹介できます。料理や価格は原則として統一しています。そして特筆すべきはその中の一店舗の二階をセントラルキッチンにしていることです。調理の七割を作り、

一椿の心得

- 一、お客様に愛される店、お客様のことを思う自分であれ
 - 一、自ら働き、自分の仕事でないとどうなかれ
 - 一、創造・実行・節約は、
お客様・自分自身につながる資源である
 - 一、お客様・部下の為なら、勇気を以って意思は言える
 - 一、職場に関係なく、あいさつ・接客・料理は
社員一人一で最高・最大・最善をつくす
- 不満はストレス、感謝はエネルギー

一椿の心得(理念)

あとは現場で加熱・アッセンブリする方法です。和食でセントラルキッチンが珍しいことでしょうか。「ウチはよその店と比べて、仕込みの時間が極端に長いのが特徴です」。

一昔前は刺身や天ぷら、焼き物があれば和食と言えました。しかし、現在は要望が多岐にわたるようになりました。一方で、冷凍や真空パック、低温殺菌などの技術が進み、以前ではできない料理や保存が可能になりました。一椿ではそこに熟練の技が加わります。コースに特化しているのと、たとえば一〇個刻んで三個ロスが出るとして、一〇〇個刻んでもロスはやはり三個です。コースなので店側のペースで作れます。もちろんその時期の旬の素材を使いますから、お

客様も満足いただけれます。まさにスケールメリットです。川原さんは毎朝四時起きで市場に行つて自分の目利きで最高の素材を仕入れています。コースのメニューは料理人さん

たちとの話し合いで月ごとに変わります。川原さんも自らカウンターに立ち、お客様とコミュニケーションを取るのを楽しんでいると言います。リピーター作りの一環としてポイントカード『椿カード』も功を奏しています。来店履歴の管理ができ、有効なDMにもつながっています。自社で作成するのでコスト安で即効性が見込まれます。

また事務所の一室をコールセンターにし、予約の電話を逃さないようにしています。もちろん受けるのは自社の社員です。

店づくりと並んで大事にしているのが接客マナーです。社員教育の一環として、プロの講師を呼んで心のこもったおもてなしができるように努めています。

「お客様が人に自慢したくなるようなお店、そんな店をめざしています」。

さまざまな経験

このような戦略もさまざまな経験から生まれています。

博多に出店したことがありましたが、あえなく撤退しました。それ

は、家賃や人件費が高いうえに、大きな資力を持った他店と競争しなければならなかったからです。

郊外で格安の物件を見つけてセントラルキッチンを稼働させましたが、店舗から離れているので、配送費が膨らんでしまったこともあり、そこで発想を切り替えて弁当を始めたところ、非常にヒットし、今では売上の一つの柱になっています。

弁当が取り持つ縁で、小倉記念病院から、院内で食堂を開設してくれという依頼がありました。現在では病院もサービス業として差別化を図る時代となったのです。食堂とカフェをオープンさせ、好評を得ています。

また、川原さんが弁当を配送していた時のことです。行橋エリアで春先に鯉のぼりが多いことに気づきました。これは日本のしきたりを大事にする人が多く、家族を大事にして法事・祝い事をするのだからと見込んで、行橋店を開店させました。これまでのノウハウに加え、大きな駐車場を完備し、授乳室を設けるなど、そのエリアにはなかったサービスを展開しました。「今では行橋店が一番の売上です」と川原さんは目を細めます。

真似できないお店を

「同友会では異業種の経営者と触

れ合うことができるとも勉強になります」と川原さん。取材の最後に川原さんが考える自立型企業についてお伺いしました。

「独自性を持つことだと思えます。言い方を変えれば他が真似できないことでしょうか。飲食業では焼鳥屋やラーメン店などが繁盛すると、似たような店が近くに出てくるのがよくあります。しかしウチは質・量ともに真似できないほどの差別化を図ろうと今取り組んでいます」。こうして『椿ブランド』の確立を推し進める根底には、同店の心得にある「お客様に愛される店、お客様の事を思う自分であれ」があるのです。

取材協力ありがとうございました。



大人気の懐石料理

中小企業と税に関する特別勉強会

「これでいいののか、日本の税制！」

講師 立教大学経済学部 教授 山口 義行氏

日時：二〇二五年一月十五日(木)
会場：福岡県中小企業振興センター三〇一



福岡同友会では、地域経済を支えている中小企業への増税はますます地域を衰退させ、なにより中小企業憲章や小規模企業振興基本法の理念に真つ向から反しているとして、外形標準課税適用拡大等への反対署名活動に取り組んでいます。取り組みを進める中で、税制のあり方そのものをしっかり学び、抜本的に税のあり方を論議する場が必要となりました。そもそも、日本の法人税は高いのか？ 応能負担の原則にそつて公平に負担が行われる税制になっているのか？ 私たちは同友会らしい黒字企業をめざし、雇用と納税の責任を果たしていこうと考えています。だからこそ、公平な税制のあり方を学びたいと考え、立教大学の山口先生を迎えての特別勉強会を開催しました。

外 形標準課税のことをより理解

特別勉強会に参加しました。世間ではアベノミクスは賛否両論ですが、山口教授の見解では「3つのかんちがい」をしていると指摘されています。

1つ目は、「大企業がもうかれれば、景気がよくなる」という思い込み。トヨタは2013年度、リーマンショック後、過去最高益を出していますが、2014年度は厳しい状況となる見込み。

2つ目は、「円安になれば、輸出が

増えて景気が良くなる」という思い込み。現在、中国はバブルが弾けて、高級な自動車や家具などが売れなくなっているらしく、アメリカも回復しているように見えるがまだまだ厳しい状況で山口教授は円安になっても景気の回復は厳しい、と見られています。

最後に3つ目は、「物価が上がれば、消費が増える」という思い込み。アメリカがシェールガスに投資をしているが、原油価格が下がっていることから、採掘コストの高いシェールガスは採算が合わなくなり厳しい



山口教授と握手する光本氏

状況になる。そのため、今年は辛抱の年になるだろうとの事でした。このような状況からこのままだと春の地方選挙後に税の話が浮上し、外形標準課税などが本格的に進められるとのこと。法人税が減税されると言われていますが、数千万円以上の黒字を出している企業のみが減税になり、その割合は全企業の約1割程度で残り9割の企業は増税になるとのこと。大半の企業が厳しい状況になれば、経済が大きく悪化していく中で外形標準課税に反対する意味がより理解ができたことや時代をよむ力を持ち、自社のビジョンを創っていくことの大切さを山口教授の講義で感じました。

齋藤 智也氏(中央支部)

立 教大学の山口先生は中小企業応援の立場に立たれた貴重な存在の有識者で、魂も熱い先生です。今回の「外形標準課税適用拡大」の論議が始まったときにいち早く「中小企業家は声をあげよ！」というメールをいただき、その波が「10万人の署名運動」や特別勉強会へつながりました。

今回の勉強会では、実際に自社の増税額を試算してみても会場からは「ふーっ」とため息が聞こえ、増税額を目の当たりにして増税の厳しさを実感したと共に怒りが。もしこのまま実行されるとしたら、影響を受けるのは私たち中小・零細企業です。それに課税対象は人件費や賃借料にも及び「雇用や昇給」にも影響するので社員の生活にも影響を及ぼしかねません。

世界に通用する職人、卓越した技術、ロケットに不可欠な部品、これらは皆日本の中小企業から生まれていることを政治家の先生たちはお忘れですか？ 中小企業憲章にうたわれた基本理念はどうなったのでしょうか？ 今こそ山口先生が言われるように私たちが「声を上げて！」主張していきましよう。ぜひ多くの方に署名活動に協力をいただき10万筆の目標を達成しましょう！

光本 智恵子氏(東支部)

福岡地区 2015年新春講演会

「あなたの会社を変える かたづけの極意」
 ~負のスパイラルを幸福のスパイラルに逆回転させる
 “ある技術”をお伝えします~

開催日: 2015年1月20日(火)

会場: 福岡市少年科学文化会館

講師: **小松 易 氏**
こまつ やすし
 スッキリ・ラボ 代表 かたづけ士



日本でただ一人の称号を持つ「かたづけ士」小松易氏を迎えての福岡地区新春講演会は、まさに新年に相応しい気づきと刺激をいただきました。

社内における「かたづけ(整理・整頓)がこれほど会社の効率や費用対効果に直結しているとは、聞いてみて驚きを実感しました。

社員を動かす、一丸体制をめざす中、経済の動向・顧客の心理、その変化を素早く見極め、新しいものに挑戦する。経営革新の第一歩とも言えますが、その前提とも言える経営者自身の身の回りのもの・業務も含め、あら

ゆるものが「かたづけ」られ、社内の体制ができていくか。必要なものか・いらぬものか、続けるものか・やめるものか、今一度見直し、スッキリかたづけてみましょう。

改めて、今年の目標は自分自身の整理整頓。私自身反省させられ、また一から出直さなければと感じました。

福岡地区幹事長 花田 博道

北九州地区 2015年新年祝賀会

社員と共に働き、共に育つ企業づくり
 ~働くことで幸せを得ることができる~

開催日: 2015年1月14日(水)

会場: リーガロイヤルホテル小倉

報告者: **比嘉 ゑみ子 氏**
ひが えみこ
 有限会社やんばるライフ 専務取締役
 (沖縄同友会 相談役)



北九州地区新年祝賀会の記念講演

会は有限会社やんばるライフ 専務取締役 比嘉ゑみ子氏(沖縄同友会相談役)に報告して頂きました。

名古屋で育った比嘉さんは、

1973年、結婚を機にご主人の故郷である沖縄に来ました。言葉が分からず大変な毎日でしたが、1975年開催の沖縄国際海洋博に向けてのインフラ整備で町は大変賑わっていました。工事関係者の泊まる宿泊場所が無いため、義父からの指示で民宿を経営(生まれて初めての事業)し始めました。

当時は働き手が足りず、沖縄では家庭を守っていた母親も働き始め、地域の子供たちが民宿に遊びに来るようになりました。子供は家庭を運んでいきます。子供を通して地域のことが少しずつわかるようになり、民宿の暇な時間帯を利用して習字を教え始めました。初めは数十名だった子供たちが120名を超え、親御さんをはじめ地域の人たちとつながりできました。

1984年にダスキンフランチャイズチェーン加盟店を創業すると、先ほどの地域の人たちが、自分の替わりに営業をしてくれました。地域の皆さんに支えられ、昨年30周年を迎えました。

2004年、創業20年目に障がい者(健障者)フォーラムに参加した際、学校を卒業する生徒に「企業の皆さん、どうか僕を働かせて下さい。お母

さんを楽にして上げたいんです。」と言われ、衝撃をうけました。これをきっかけに障がい者雇用を始めました。社員さんは相談する前から自発的に動き、社内の受け入れ態勢をつくってくれました。そこで、なんでできないの「から」どうしたらできるだろうという発想に、社風が変わりました。難しいことはやさしく、やさしいことはより深く伝えることが大切であることに気づきました。

働くことを通して、お客さんや共に働く仲間にあてにされ、「ありがとう」と言われることで、人は人間として成長し、生きる喜びを得ることが出来ます。この場を提供できるのは、中小企業ではないでしょうか。社員も経営者も共に育たなければ、私たち企業の成長はないのです。「人はみんな違って、みんないい。」と太田堯先生がおっしゃるように、「人間の多様性と不完全さと向き合うことが、人間尊重経営の入り口なのです。」と比嘉さんは言い切ります。

中小企業が雇用全体の75%を担っています。だから地域をつくるのは中小企業です。働くということは暮らしをつくるという事に繋がります。暮らしをつくるのも中小企業が大きな役割をしています。だから私

筑豊地区 2015年新年祝賀会

いま、経営者がなすべき重要な仕事

日時：2015年1月23日(金) 18:00～(賀詞交換会20:00～)

会場：のがみプレジデントホテル

報告者：尾崎 宏氏

元 松下電工株式会社 施設照明事業部長
パナソニックエコソリューションズ創研株式会社
特別講師
ユーデングループHD株式会社 取締役



「同友会の三つの目的は企業家の三大責任であり、使命である。」という比嘉さんの言葉が印象的でした。企業づくり、地域づくり、同友会づくりの3つがしっかりとつながる報告を聞かせて頂きました。同友会運動に取り組み、学んだことを企業で実践し、結果を出しているという、北九州地区で共有していきたいと思えます。

北九州地区会長 坂本 敏弘

一月二十三日、のがみプレジデントホテルにて筑豊地区新年祝賀会が開催されました。特別講演でパナソニックエコソリューションズ創研株式会社特別講師の尾崎宏氏に講演いただきました。

大企業の製造業の方の話で、どれほど中小企業の私たちとマッチした話になるのだろうか、話を聞く前は思っていました。しかし、お話を聞き、経営者のなすべきことは企業の大小に関わらず同じだと感じました。

ビジョンを明確に示し、人が育つ組織を作る。むしろ少ない人材で成果をあげる中小企業にとって本当に必要なことは何かを教えてくださいました。これらが同友会の目指す企業像と同じであることも明白で、私たちは今後同友会の目指す、人づくり、組織づくりに邁進しなければならぬと感じました。

その後の懇親会では、各地域の首長はじめ来賓の皆様からお祝いの言葉と今後ますます協力していくという力強い言葉をいただき、すばらしい新年祝賀会にすることができました。

筑豊地区副幹事長 重松和孝



有明支部・大牟田支部合同 2015年新春講演会

お客様に選ばれる店づくり ～自社の強みをいかし大手に勝つ～

開催日：2015年1月27日(火)

会場：オームタガーデンホテル

報告者：松岡 義一氏
株式会社スーパーまるまつ 会長

松岡 尚志氏
株式会社スーパーまるまつ
代表取締役社長



現在は、松岡会長の経営手法を元に、長男の松岡社長が商品のデータ分析ができる商品管理システム、そしてお客様一人一人の要望に込められる顧客管理システムをつくり上げ、地域で一番のスーパーとして繁盛しています。(事業承継)

松岡会長は「お客様が1番、従業員が2番、経営者は3番目だ」とし、「良い人材を雇用し、育てないと企業はダメになる」(人を生かす経営)そして「儲かるポイントを合わせて価格を決め販売することが大事だ」(経営指針、経営数値の分析)と、このようなお話をされました。

私たちが同友会で学んでいることを実践することが経営の基本だと確信できた素晴らしい講演会でした。

実行委員長 濱田 満広(大牟田支部)

平成27年1月27日、オームタガーデンホテルにて、来賓として柳川市副市長 石橋 義浩様、大牟田市産業経済部長 大久保徳政様、大牟田商工会議所副会頭 糸永一平様をお迎えし、有明支部・大牟田支部主催の新春講演会、新年祝賀会を開催しました。(講演会参加者116名、祝賀会参加者87名)

今年はいアの夜明けなどに出演された柳川市の株式会社スーパーマるまつ 松岡義一会長、松岡尚志社長に講演をして頂きました。

松岡会長は現在82歳になられ

18水 17:00~21:30

南支部
南支部フォーラム

あゆみ ~南支部の今そして 未来へつなぐ~

■ アークホテルロイヤル福岡天神 福岡市中央区天神3-13-20 ☎092-724-2222

今回は今現在の「南支部」について支部会員全員からアンケートを取り、その集計・分析結果をもとにグループ討議をするという新しい試みです！ブロック長5名による総括も行います。2年間の「あゆみ」を振り返り、会員一人ひとりにとっての同友会活動の充実や、自社の経営力アップにつなげましょう。

19木 18:30~21:00

中央支部
3月例会

企業が生き延びるために 真実の承継でつなぐ企業の使命

■ 天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 11F ☎0120-383-921

■ 佐東 孝子 氏 サンキュウ株式会社 代表取締役 (中央支部)

会社には、お客様へ提供している、様々な商品・サービスがあります。私たち(提供側)は、はたして本当に自社の商品サービスを心から愛し、使命感を持って提供できているのでしょうか？今回は、顧客も売上もまったく見込みゼロからスタートした佐東氏に亡き先代社長と歩んできた経営体験を報告していただきます。

19木 18:30~21:00

西支部
3月例会

あなたは健康と言えますか？

~がんの早期発見・早期治療、生活習慣病予防~

■ 福岡ビル 9F 福岡市中央区天神1-11-17 ☎092-716-8021

■ 山永 義之 氏 福岡和白総合健診クリニック 院長

「いつまでも元気で、健康でありたい」これはみんなが考え、願っている事です。仕事をするにしても、スポーツ・遊びにしても、健康な体があってこそそのもの。自分では健康と思っていても、はたして病気もない健康体でしょうか？

19木 18:20~20:50

筑紫支部
3月例会

共育(仮)

■ 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535

■ 草野 将 氏 株式会社まちのえき 代表取締役 (筑紫支部)

19木 18:30~21:00

福友支部
3月例会

ターニングポイント ~失った後に見えたものとは~

■ TKPガーデンシティ天神 福岡市中央区天神2-14-8 ☎092-474-5111

■ 野口 賢治 氏 株式会社Cygnus 代表取締役会長 (福友支部)

野口氏は11名の社員さんと共に独自の技術を強みに日本中を飛び回っています。しかし今日に至るまでの経営人生は波乱に満ちたものでした。全てを失っても前向きに取り組まれ、多くの人とのご縁で現事業と出会い存在価値を見出します。厳しい経験を乗り越えて得られた気付き、経営姿勢についてご報告いただきます。

19木 18:30~21:00

久留米支部
3月例会

未来を拓く事業戦略

■ 萃香園ホテル 久留米市柳原町87 ☎0942-35-5351

■ 稲葉 雄大 氏 株式会社イナバ 後継者 (久留米支部)

■ 半田 啓祐 氏 H&Aマネジメント 代表者 (久留米支部)

稲葉氏からは、従来の問屋という業務形態から、独自に量販店の売場での販売へ、そして、インターネットの活用による直販へと、転換を図る事業戦略を報告いただきます。半田氏からは、地域コミュニティの創造を主導することにより、街の活性化に伴う収益を獲得するという、独創的な不動産管理業のビジネスモデルを報告いただきます。

19木 19:00~21:20

青年支部
3月例会

しゃべり場in青年支部

~役員ってどんな仕事？役を受けて変わった事、知った事~

■ IPシティホテル 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009

■ 青年支部役員一同

役員を経験して自身や自社にどんな影響があったか？支部運営に参加してみて、どう感じたか？今後どのように会活動と経営を考えていくか？等、積極的に会活動に関わった役員にだからこそ見えた事を語っていただきます。今後の同友会活動と経営との関わり方を、深く見つけ直す機会になればと思います。

20金 18:30~22:00

糸島支部
同友会を知る会(例会振替)

自社成長のチャンスを拡げる(仮)

■ 元氣くらぶ伊都 糸島市泊765 ☎092-331-1000

20金 18:30~20:30

広報情報化推進本部
広報勉強会

中小企業ならではの広報戦略

第2回「ブログを書いてホームページへ集客する方法」

■ 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15

福岡県中小企業振興センタービル11階 ☎092-686-1234

■ 村本 俊和 氏 有限会社タイム 代表取締役 (南支部)

新聞は取ってない、チラシを見ることもない、ではどうやって情報をユーザーに届けたいのでしょうか。その答えは「ニュースキュレーションサービス」です。ブログを書いてニュースキュレーションサービスに配信してもらったら1日に2万人のアクセスが期待できます。今ユーザーに情報を届けるための最も有効な手段はSEO対策ではありません。ニュースキュレーションに取り上げられるブログを書くことで、2万人に情報を届けるブログを書きませんか？

23月 18:30~20:30

国際交流委員会
3月勉強会

■ エヌビーエス株式会社 福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-263-8833

23月 18:30~21:00

経営労働委員会 労務管理部
人事・労務の基礎知識セミナー(第10回)

合意退職と解雇の違い

■ 社会保険労務士法人 COMMITMENT

福岡市中央区高砂1-5-15 ☎092-791-2056

■ 下村 訓弘 氏 日の出総合法律事務所 弁護士 (博多支部)

人を生かす経営において、社員が意欲を持って仕事に臨み能力を発揮できる仕組みを作ること、また、労働条件の最低基準を少なくとも守ることは大切です。労使関係を常に安定的に保ち、働く人が仕事と生活を調和させながら安心して働くことができるように、啓蒙していくためのセミナーです。また、就業規則を変更したいが、どのようにしたら良いか困っている会員の方もどうぞご参加下さい。

24四 9:30(集合)~
16:30(解散予定)

企業連携推進委員会
FAST3月例会

糸島の食めぐり ~ワイワイがやがや交流会~

■ 天神 日本銀行福岡支店前集合

■ 富永 豊 氏 株式会社糸島みるくくらんと 専務取締役 (糸島支部)

■ 中園信一郎 氏 有限会社糸島手造りハム
製品企画営業チーム(後継者) (糸島支部)

■ 熊谷 俊明 氏 株式会社クマガイ設計測量事務所
代表取締役 (糸島支部(元岡商工連合会 会長))

■ 一尾 憲史 氏 セトル株式会社 取締役 (糸島支部) (ほか)

福岡を食で支え、美しい海や緑豊かな山々が在る糸島で美味しい食べものを生みだしている同友会会員企業を訪ね、糸島支部の皆さんとワイワイがやがや交流をいたします。(雨天決行)

■ 参加費 500円(保険等)+昼食代実費2,000円(飲み物代除く)

26木 18:00~21:00

第118回 新会員
フォローアップセミナー

■ 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15

福岡県中小企業振興センタービル11階 ☎092-686-1234

3月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

10 火 16:00~18:30

ソーシャルビジネス委員会
3月勉強会

- 天神パークビル 福岡市中央区大名2-8-18 ☎092-721-5530
- 上田 浩司 氏 社会福祉法人さつき会 はまゆうワークセンター宗像 施設長
今後様々な地域、分野で多くの社会問題が起こり、事業にも多大な影響を及ぼすことが予測できます。その社会問題、事業課題にソーシャルビジネスを用いて解決している企業や団体の実践報告から自社の事業にソーシャルビジネスをどのように結びつけるかを学び、地域に永续していける中小、小規模事業づくりを目指します！

13 金 18:30~

筑豊支部・嘉飯支部
合同3月例会

激戦有楽町！ ~その中で生き残るママとは!?~

- ユメニティのおがた 直方市山部364-4 ☎0949-25-1007
- 高江 道 氏 ナイトイン☆ジュリーの部屋 代表者(筑豊支部)
飲食店で特にスナック経営という仕事柄、スタッフの定着率が悪い業界でありながらいかにしてスタッフを教育しているのか。嫌いであったはずの仕事を長期に渡って続けていくうち、その中でいかにお店のコンセプトをスタッフに伝え、共育しながらお客様を楽しませるかを日々努力されていることを語って頂きます。

16 月 18:30~21:00

りょうちく・日田支部
3月合同例会

経営理念の継承 ~経営理念の共有と実践~

- 日田商工会議所 日田市三本松2丁目2-16 ☎0973-22-3184
- 清水 照彦 氏 清水住設株式会社 代表取締役(大分同友会 日田支部)
経営指針書の大切さ、そして実践することの難しさ。5年程前に代表者となった清水氏から事業継承での問題点などを報告いただきます。そのなかで、攻め!の経営手腕や新しい経営スタイルについて、一緒に考えます。

16 月 18:30~20:30

2015年度 第2回
共同求人委員会

- 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11階 ☎092-686-1234
中小企業にとって「新卒採用」はとてつもないハードルの高いものです。大企業のように知名度もなく、予算をかけた大規模な採用活動を行うことは非常に困難であり、また、採用のためのノウハウも不足しがちです。また、採用した後の社員共育についても、自社だけでは対応しきれないことも多くあります。共同求人委員会では、そうした課題や悩みを共有し、共に解決を目指していきます。今後、2年後3年後からの採用をお考えの方も、ぜひ一度委員会にご参加ください。

17 火 18:30~21:00

博多支部
3月例会

新しい看板屋を目指して ~社員から学び、社員と築いた会社~

- 天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 11階 ☎0120-323-920
- 山口 幸只 氏 ホイストアート有限公司 代表取締役(博多支部)
社員さんとどう付き合っていくかは、経営者の大きな課題です。会社を運営するために、どのように社員さんと向き合ってきたかを報告してもらい、会社経営者が社員さんとどのような関係を築くべきかをみんなで考えることを目的とします。

17 火 18:30~21:00

玄海支部
3月例会

経営計画書は儲かります

- 天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 11階 ☎0120-323-920
- 森 茂博 氏 和新工業株式会社 代表取締役(筑紫支部)
森氏の自社の経営の経験談を交え、経営計画書、経営指針について語っていただきます。また、経営計画書の前段階となる3年後の自社の目標というテーマで参加者の方に「わが社の強み」「どの事業分野で仕事をするか」「3年後の経営目標」などを考えていただきます。

17 火 18:30~21:00

かすや支部
3月例会

人生と経営の融和 ~出会いを活かす経営~

- 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11階 ☎092-686-1234
- 京谷 忠幸 氏 株式会社ピーエムティー 代表取締役
学生時代何も知らない世界で、社会の厳しさを体感、家庭の問題で高専中退、社会の矛盾を感じながら祖母、弟との生活、就職をするが学閥社会の為、将来の希望に魅力が出てこないなか、仕事と人生観を深く感じはじめ、自身での経営に興味を感じ29歳にて創業。その折、京セラフィロソフィーと出会い、経営者の姿勢を学び、周りの方にも助けられ、自身も探求しながら成長できた経営者の想いを報告します。

17 火 18:30~

北九州支部・ひびき支部
合同3月例会

「変わる 経営者保証!! 知って得する 知らなきゃ損も?」
~備えあれば憂いなし 会社への影響を皆で考えよう~

- コムシティ 大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
- 坂本 敏弘 氏 計測検査株式会社 代表取締役(北九州支部)
1980年代にバブル崩壊後、1990年代の終わりから2000年初頭にかけて「貸し渋り」や「貸しはがし」が横行し、多くの中小企業が資金繰りに窮して倒産においやられ、金融アセスメント運動に火がつかます。個人保証問題はその中核となり、中小企業憲章に引継がれ「金融の円滑化」が謳われ、この運動は一昨年12月に「経営者保証に関するガイドライン」として結実しました。さらに民法改正から「個人保証原則廃止」へとつながっていきます。今回の改正により経営者保証はどのように変わったのか?融資のあり方そのものが変われば私達中小企業にとってどのような影響があるのか?また、それに伴い何をしていくべきなのか?計測検査株式の経営保証ガイドラインの取組み経過の報告と共に、皆さんでこの個人保証の実状をつかみ経営体質強化を考えるきっかけとなる例会になると思います。

17 火 18:30~21:00

大牟田支部
3月例会

経営指針発表

- 大牟田文化会館 大牟田市不知火町2-10-2 ☎0944-55-3131
- 今村 成剛 氏 株式会社今村組 代表取締役副社長(大牟田支部)
- 濱田 満広 氏 濱田設備 代表者(大牟田支部)
- 金森 信吾 氏 有限会社バン・ド・ミー 代表取締役(大牟田支部)
経営指針を活用し、この環境の変化の厳しい中、社員一丸となってどう乗り越えていくのかという報告を聞くことで、自社の経営指針の見直しや作成につなげます。

18 水 18:00~20:30

福博支部
3月例会

縁する人たちを幸せにする ~感謝・感動・感涙経営の実践~

- ホテルレオパレス博多3Fイベントホール
福岡市博多区博多駅東2-5-33 ☎092-482-1212
- 加治 敬通 氏 株式会社ハローデー 代表取締役
3月例会の報告者は、特別例会と題して(株)ハローデーの加治社長にお越しいただきます。売上60億円、借入金60億円、営業利益-1億円からの出発、新入社員への理念浸透、何のために仕事をするのか…減多に聞けない加治社長の話です。(座席数の関係により、他支部からのご参加は先着20名様までとさせていただきます。)

18 水 18:00~21:00

東支部
3月例会

ベテラン会員に聞く同友会活用術(仮)

- ウィズスタイル福岡 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
- 明石智津子 氏 有限会社アカシ 取締役(東支部)
- 芹口 健二 氏 有限会社珈琲豆屋 代表取締役(東支部)
- 松尾 憲親 氏 株式会社大建 代表取締役(東支部)
- 渡辺 誠治 氏 フローリストわたなべ 有限会社花樹園 代表取締役(東支部)

「ワーク・ライフ・バランス大賞 優秀賞」受賞！

拓新産業株式会社 代表取締役 藤河 次宏氏（南支部）



藤河 次宏氏

日、残業・休日出勤なし、年休完全消化へ取り組み、それらが達成されたことです。

そこで今回、藤河氏を訪問し、お話を聞きました。

これらに取り組んだ理由は、一九九〇年の新卒採用の合同説明会で学生にまったく相手にされなかったことに始まり、学生に胸を張って会社を語れるようにすれば入社してもらえるのではないかと、そのために経営姿勢を正そう、それは法を守ることに、そしてそれは同友会の労使見解に通じるではないかと考えたからでした。つまり、そもそもは会社のためであり、ワーク・ライフ・バランスを実践することとは手段であったとのこと。

昨年十月二十七日に「第八回ワーク・ライフ・バランス大賞」（公益財団法人 日本生産性本部）の受賞者が発表され、福岡同友会の拓新産業株式会社が優秀賞に選ばれました。評価されたことは、完全週休二

二十数年前に就業規則の作成、週一日のノー残業デイからスタートし、所定時間内に仕事を終わらせるための努力と工夫、有給休暇を取りやすくするための職務ローテーション、権限移譲などの実践



表彰式の様子

しないと経費節減どころか人件費の固定費化です。そして「お客様にはただただ協力をお願いするのみですよ」と笑いました。

表彰式でのパネルディスカッションとその後の交流会でも、「なぜそこまで達成できたのか」と皆に聞かれたそうですが、その答えは「本気で変えるんだという社長の強い意志があればこそ」だそうです。

昨今こそ「CS」よりも「ES」と言われることが多くなりましたが、二十数年前にすでに取り組み、成果を出している藤河氏に、「今後の向かうところは？」と質問したところ、「円滑な事業承継、そしてそのために五人の社員を後継として準備に取りかかっている」とのことでした。

を重ね、五年をかけて達成しました。そうしたところ、社員がいかに効率的に時間内におさめるか、いかに生産性を高めるかを考えるようになり、社員の質そのものが向上しました。割増の残業代が発生

（記事 池田 宏子）

2014年度 第9回理事会報告

■ 日時: 2015年1月31日(土) 現・新理事研修会10:00~15:50 第9回理事会15:50~17:20 ■ 場所: 福岡県中小企業振興センター 401号会議室
■ 出席: 45名(欠席8名) 出席率 84.9% 代理出席: 2名 新理事予定者: 19名 ■ 議長: 森副代表理事

現・新理事(予定者)研修会で確認されたこと

2014年度活動総括案、2015年度運動方針骨子案、2015年度予算の考え方と試算が提案された。この方針骨子案に基づき、2~3月に各地区・支部、本部・室・委員会・連絡会等で方針の具体化および活動計画を行い、3月理事会(3/25)に集約し、総会議案として最終確認を行うことが確認された。また、活動計画で「第25回経営者フォーラム」を10月14日(ヒルトン福岡シーホーク)に開催することが確認された。

承認・確認されたこと

- 1 「ビジョン2020」(案)について
前回の理事会で出された意見をもとに修正・追加した案が提案され、最終案として承認された。
- 2 データベースづくりについて
「データベース化の目的と活用検討プロジェクト」を立ち上げ、データベース化の目的を明確化した。今後作業部会を立ち上げ、具体化できるように進めていくことが確認された。
- 3 仲間づくりについて
前回の理事会で正副代表理事会に一任された5年後の福岡同友会の目標会勢を、2,500名に決定したことを報告。中同協に提出する2019年の会員目標を2,500名に決定したことを確認した。
- 4 外形標準課税適用拡大等への反対署名活動について
目標達成することを再度確認した。
- 5 2015年度理事予定者を承認した。
- 6 一般社団法人の会員資格を承認した。(1名)
- 7 除籍3名を承認した。

8 共催・後援依頼、要請事項について確認および追加承認。

- ① 共催・後援等
下記依頼、要請事項が確認および当日追加審議され承認された。
 - ・福岡地区から福岡市への「開物成務塾」共催の依頼提出
 - ・女性の活躍推進福岡県会議「これからの働き方を考えるワールドカフェ」開催の共催依頼の承認
 - ・九州CSR協会「第3回九州CSRセミナー」名義後援依頼の承認
 - ・福岡同友会から九州経済産業局へ「チャレンジフェスタ2015 in FUKUOKA」への後援依頼の承認
 - ・福岡県NPOボランティアセンターより「企業・行政との協働実践会議」委員推薦要請
→福岡同友会から理事1名を委員として選出することを承認
 - ・近畿大学から筑豊地区 インターンシップ受け入れ要請

活動報告

1 会員企業のうごき

- ・表彰企業
福岡県子育て応援宣言企業(優良企業・事業所の知事表彰)
(株)すこやか工房 代表取締役 光本 智恵子 氏(東支部)

※ 理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2014年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。



第53回定期総会 および 一般社団法人福岡県中小企業家同友会設立総会のご案内

下記の通り、第53回定期総会を開催致します。本総会は昨年4月の定期総会で承認された「一般社団法人福岡県中小企業家同友会」設立となる総会です。福岡同友会にとって新たな歴史を刻む節目の総会となります。皆様ぜひご予定ください。

日時 2015年4月27日(月)

会場 ホテル日航福岡 3階都久志の間

■ タイムスケジュール(予定)

- 14:30~ 開会
- 14:35~ 表彰等
- 15:00~ 総会議事 (16:45 総会議事終了予定)
- 17:00~ 記念講演 (18:15 記念講演終了予定)
報告者 中小企業家同友会全国協議会 会長 鋤柄 修 氏
- 18:30~ 交流会(一般社団法人設立記念パーティー)
- 20:00 閉会





会員からの

自由投稿!

このコーナーでは、会員のみさんから寄せられた記事をご紹介します。

九州の食EXPO開催! 3月20日(金)~21日(土)

気候風土に恵まれた九州には、様々な穀物や野菜、果物、水産物、肉類などの豊かな食があります。その素晴らしい食の商品を多くの人に知っていただきたいということで、3月20日(金)~21日(土)に北九州市小倉の西日本総合展示場で、九州の食EXPOを開催いたします。

この活動はFASTと九州経済産業局を始めとする産官学連携をベースに生まれました。前回は、出展企業156で、12000人の入場者がありました。今回は200を超える出展企業が、魅力のある商品を展示します。九州の同友会からも後援をいただき、九州の魅力を発信していきたいと考えています。

(九州の食EXPOホームページ: <http://9expo.info>)



記事: 船木 治氏 九州の食EXPO 実行委員長(中央支部)

IT津梁まつり2015を見学して



2015年1月31日、沖縄県が主催し、沖縄県中小企業家同友会の“e-おきなわ”が実行委員として運営する「沖縄IT津梁まつり」を見学してきました。

会場は、那覇市内から、バスで45分ぐらいの「沖縄コンベンションセンター」です。

学校、企業、自治体を巻き込んで、学生や子供たちが、ITへの関心を高め、ITになじんでもらう企画です。

多くの学生や引率の先生、父兄や子供、企業の関係者や自治体の方々と、会場は熱気ムンムンでした。

さまざまなロボットや、IT機器や関連おもちゃの公開、企業の商品・サービスの展示や学校の紹介ブースがありました。

子供対象の簡単なプログラミングセミナーも開催されていて、受講している子供の楽しそうな顔が印象的でした。

学習成果のプレゼンテーション、ロボット(ETロボコン、WRO)での競技、ITマナー標語、まんがコンテストなど、さまざまな企画で、子供、学生を引き込んでいます。

ロボット競技に参加し、そのつどプログラムを書き直し最適化しながら、順位を上げていく、学生の熱いまなざしには心を打たれます。うまく、ハードルを越えながら、ゴールに達したとき、観客から大きな拍手。選手のうれしそうな笑顔が、たまりません(#^.^#)

自治体、学校を巻き込んで、これだけのイベントが出来る、沖縄同友会の“e-おきなわ”の企画力、組織力に感動します。

これは2008年から“e-おきなわ”が中心となって学校や地方自治体を巻き込みながら作り上げてきた成果です。

自治体はIT関連企業の立地で雇用の創出を狙い、学校は生徒の獲得や学習意欲の向上や就職活動、企業は商品やサービスの紹介と求人活動など、三者がウインウインになるというすばらしい企画でした。

記事: 倉本 明彦氏 企業連携推進委員会 IT部会 部会長

広報委員会よりのお知らせです

次月、4月号より新たに「**ぶれぜん**と」欄を、当稿の下方に下記、見本のような形で掲載いたします。奮って掲載のご協力をお願い致します。

<掲載と応募の仕様>

- ① 掲載料は無料とする。ただし、掲載は会員に限ります
- ② 2社掲載の場合は名刺サイズ(横書き)、3社掲載の場合は名刺2/3サイズとする
- ③ 最大3社までとする(これ以上は、枠が小さくなるので読みづらい)
- ④ 掲載は**単一**の商品やサービス、チケット等とし**必ず写真**を添付する
- ⑤ 支部ごとの掲載を基本とするが、希望掲載を妨げない
- ⑥ 掲載社は応募者に、2名以上を原則に**合計で6千円**までの掲載したものをプレゼントする
※応募多数の場合は抽選とする。応募がなければPRしただけとなる
- ⑦ 応募は、月刊「同友」発行後その月の15日〆とする(例:4月号だと4月15日が締め切りとなる)
- ⑧ 応募要領:記載された**FAXのみ**とする。又、抽選は公平を期すためあらかじめ決めた順番で行う
※例:2名は1番と4番とか、3名の場合は2・5・7番とか予め決めた番号とする
- ⑨ プレゼント有効期間:掲載の記入日までとする

<当稿の主旨、目的>

- ① 月刊「同友」を会員や外の方々にも手に取り読んでもらう
- ② 誌上で、会員の仕事内容を少しでも分かってもらう
- ③ 会員交流や経済交流の一助とする

博多区中洲川中で癒しのマッサージ店を開業した〇〇××子です。



毎日歩くことで脚が疲労していませんか? 当店は足マッサージを主力に気持ちよい一時をお過ごし頂けます。足モミ30分コース

招待:2名様・有効期間:5月15日

(有)〇〇〇企画 FAX 092-000-1111